

授業でも！ つかえる ちゃぐりん VOL.106



◇記事名:『ちゃぐりん』2022年2月号10～18ページ

「ちゃぐりんあぐりスクール」「ラクチン！みそづくり」ほか

◇対象:家庭科(6年生)

文・藤本勇二(武庫川女子大学 准教授)

大豆といえば、みそ、しょうゆ、豆腐、納豆、おせちの黒豆など、子どもたちもよく知っている食品です。大豆は煮たり、煎ったりして食べるだけでなく、姿を変えて日本人の暮らしと深いつながりをもってきました。『ちゃぐりん』の記事を使って6年生家庭科「ご飯とみそ汁」の授業に取り入れる学習を提案します。

1:みそを比べよう(6年生:家庭科 ご飯とみそ汁)

「ご飯とみそ汁」の学習の発展として、『ちゃぐりん』の記事を紹介します。「みそは地域によって特ちょうがあるんだね」の言葉に注目し、「どんなみそを知っているかな」と問いかけます。「豆みそって聞いたことがある」「お正月に行ったおばあちゃんの家では、みそが白かったよ」などみそについて知っていることを引き出します。

そこで、事前に家庭から持ち寄っておいたみそのラベルを比べます。「みんなが持ってきたみその表示を見ると、〇〇みそって書いてあるでしょ。なんて書いてある?」。見比べてみると米みそや麦みそ、豆みそという種類があり、それぞれ麴のちがいであることや、米みそには赤みそと白みそがあることを話します。と、同時にみそ作りについて簡単に説明します。そのさいに「ラクチン！みそづくり」の記事が、基本的なみそづくりを踏まえていて理解しやすい教材となります。それぞれの家庭のみそが、ちがうことに気がついた子どもたちは、全国各地のみそへと関心を向けます。そして、大豆と麴と塩の3種類の原料を基本に作るみその豊かな世界に気づいていきます。コロナ禍でなければ、みその食べ比べをするとさらに学習が深まります。

2:豆と私たちの暮らし(6年生:家庭科 ご飯とみそ汁)

節分の行事と言えば、家の中の鬼、つまり邪気を追い払うための「豆まき」です。では、「なぜまくのは豆なのでしょう?」と子どもたちに問いかけます。それから、「表紙の食べ物クイズ」の記事で「豆は魔を滅する」(18ページ)といういわれがあることを確認します。ほかにも、お正月の「おせち料理」に豆が入っていることや、「今年もまめ(豆)に暮せますように」という願いが込められていることを紹介して、大豆から小豆なども含めた豆と年中行事の関係を調べる活動につなげます。旧暦の9月13日～14日の夜の月は「豆名月(まめめいげつ)」と呼ばれ、農作物の収穫に関連する行事として伝えられてきました。小豆の入ったおかゆを食べる「冬至」も、邪気払いをする日です。豆は、今でもわたしたちの生活や食事と深い関わりがあります。

3:姿を変える食べもの(6年生:家庭科 ご飯とみそ汁)

大豆はさまざまな食品や料理へ姿を変えています。子どもたちはこうした加工食品を毎日何らかの形で口にしています。授業の冒頭、「ご飯とみそ汁の学習で使ったみそは、何からできていましたか」と聞きます。その後、「日本にどうやってみそが根づいたかを『ちゃぐりん』で見てください」と話し、「飛鳥時代に中国から伝来したこと」「みそとしょうゆは兄弟であること」を確認します。

6年生は社会科で飛鳥時代も学習していますから、古くから日本にみそやしょうゆがあることが分かります。「古くから日本にみそやしょうゆがあったのであれば、他にも大豆はいろいろな食べ物に姿を変えているはずだね」と聞くと「豆腐」「きな粉」「納豆」などどんどん身近な大豆食品があがります。そこで、「煎り豆」「煮豆」「しょうゆ」「枝豆」「豆腐」「きな粉」「納豆」「油揚げ」「厚揚げ」など自分の興味にあった大豆食品について、来歴や加工方法、食べ方などを調べていくことで、それをおたがいに紹介し合うことができます。



JAグループの食農教育を
すすめる子ども雑誌
Child Agriculture Green

子どもたちに伝えたい!

2022年3月号

ちゃぐりん おすすめ記事

お魚教室にレッツ GO!

掲載ページ：P24-27



小学生くらいの年頃では「魚より肉が好き」と答える子どもも多いでしょう。中には骨や青くさいにおいが苦手という意見も…。今月号では、そんな子どもも食べやすいカジキを使い、焼いたり、煮たり、炒めたりとさまざまな調理方法を紹介しています。子どもといっしょに挑戦してみてください。

小島よしおの産地へ GO!GO!

掲載ページ:P28-31



今回は、小島よしおさんが大好きすぎて歌まで作ったという「ゴボウ」の産地を訪れました。水田を活用した水田ゴボウの栽培のひみつや収穫後の出荷の裏側までのぞけます。さらに、JA 菊池女性部オリジナルのゴボウレシピも掲載していて、ゴボウ好きにはたまらない記事です。

名字っておもしろい!

掲載ページ:P133-136



日本にはなんと10万種類以上の名字があるそうです。膨大な数の名字のなかには、なじみのないものも多くあるかと思います。この企画では普段あまり目にする機会のない珍しい名字をクイズ形式で知ることができます。楽しみながら名字の奥深さを学べます。

ちゃぐりんハンドメイドクラフ (工作)

掲載ページ:P150-151



今回のハンドメイドの工作は1Lの牛乳パック1個でできる「ねこびな&あられボックス」です。かわいい猫がお内裏様とおひな様の姿をしていて、家庭で簡単にひな祭りを楽しむことができます。ぜひ牛乳パックをご用意いただき、今年のひな祭りを盛り上げてください。

★ 配信中のコンテンツ ★

「ちゃぐりん」食農クイズ

毎月の『ちゃぐりん』の中から、食や農にまつわるクイズを10問出題しています。



特別サイト「家活でコロナに負けるな！」

紙芝居の読み聞かせ、親子でできる手芸や料理などを動画で紹介しています。



4月号予告 草だんごを作って出かけよう……ヨモギの草だんごの作り方を、さまざまな食べ方といっしょにご紹介!

JAグループ (一社) 家の光協会